

三菱重工の二村部長が資料 19-1(H- A#17 打上げ結果)を 2 分余で説明した後、7 分弱の質疑応答が行われた。

池上委員長:あの、秒まで書いてあるけど、此れ、どの位の正確さなんですか。プラス・マイナス、セントカ(?)とか云うのあるんですか?

MHI 二村:エエト、経過時間で御座いますか?

池上委員長:ええ、経過時間。此れ、あの、秒の単位で書いてありますヨネ。

MHI 二村:此れあの一、実際には小数点以下 3 桁位までは...

池上委員長:ア、そんな正確なんですか。ハア、ハア、ハア。

森尾:此れ、計画と一寸ずつ違う事の意味、若し、差し支えなければ教えて頂きたい¹んですが。

MHI 二村:此れあの、例えば推力値ですとか、そう云ったもののバラツキの範囲の中でのずれだと言う風に認識しておりますけれども、現在データを詳細に分析して居りますので、其の辺りは結果が分かり次第ご報告できると思います。

森尾:今回全部でエエト、5 つ位でしたっけ、大きな副衛星って云うか、あんなに沢山乗っけるのは、今回初めてだと思²うんですが。何か新しく分かった事とかありましたか。

JAXA 坂爪:エエト、私の方からあの一、副衛星の事についての報告、簡単にしたいと思います。IKAROS を打上げてますけども、此れは運用は順調に実施されておまして、特に大きな不具合が発生して居りません。其の他に 4 基の衛星がありますけれども、創価大学の「ねがいぼし」、此れは衛星からの電波を受信して居ります。それから大学コンソーシアムの UNISEC-1、此れ「しんえん」ですけども、21 日に衛星からの電波受信を確認したものの、現在は受信が出来て居りませんので、今受信を試みている状況です。それから早稲田大学の「ワセダサット - 2」それから鹿児島大学の「はやと」については、衛星からの電波を確認出来て居りません。此れも引き続き受信を試みている状況です。唯此れあの、お昼前までの状況ですので、またあの、状況が変わってるかも知れません。

池上委員長:あと、特にその、修正をしなくてもネ、予定した軌道に入って、余分な燃料を使わなくて良かったって話がありますが、其の点についてはどうなんですか。

JAXA 坂爪:其れはあの、次の中村プロジェクトマネージャの方から...

池上委員長:あと、何か御座いませんでしょうか。...そうすと、宇宙センタとしても特に...ま、計画通り殆どそう云う事で行ったと云う事なんでしょうか。

JAXA 坂爪:はい、そうですネ。あの、今回、初回目が天候不良で延びまして、今迄あの一、点検をすると云う事で、中 5 日空けて打上げてた訳ですけども、今回中 2 日と云う事で、大分こう、

¹ 見易い様に分と秒で書かれているが、秒で示した数字を見たら、大きくても 1%なので、質問しなかつたろう。

² 地球観測衛星と一緒に沢山搭載した事があった。

ソサク(?)が出来た訳ですけども、逆に人間が一寸大変だったなと云う反省もある訳ですけども、此れも詳細に其処ら辺をですネ、分析して、次回の打上げに備えたいと思ってます。

池上委員長:ア、でも、2 日でも行けそうだって事は、一応実証した³訳ですか。

JAXA 坂爪:そうですネ、はい。

池上委員長:相当無理があったんですか。

JAXA 坂爪:やっぱり人間は苦しいですネ。特に、あの、朝の打上げですと、12 時間前から我々起きてます。ですからあの、午後の 7 時頃からですネ。で、其の代わりですネ、其の日の午前中にはですネ、Y-0 移行前の天候判断がありますので、午前中出勤して、ま、帰って、飯も食いますし風呂も入りますし、で、起きて 7 時頃出勤する訳ですから、一度延びてしまうのですネ、結構きついものがありました。

池上委員長:ハア、ハア、ハア。で、重工さんの方は如何ですか。

MHI 二村:そうですネ、あのー、今仰った様に、作業者としては少し厳しかったかなと云う風には思っていますけども、あのー、比較的あのー、作業の合間合間を、こう、休憩を取らせる様な工夫等が、あのー、出来ましたので、まあ、其の辺一寸、最後

整理をして、今後の作業に役立てたいと云う風に思っています。

青江:あのー、ムニャムニャ。斯う考えると、もう此れ以上は詰まらない⁴と。

MHI 二村:そうですネ、あのー、燃料を抜きまして、其の後 VAB って言いますか、組立等の方に一度戻します。で、それからあの、断熱材の補修とかが当然必要になって来ますんで、そう云った作業を見込みますと、此れを更に知事メルのかなり厳しい。若しあの、一日で行こうとするのであれば、燃料を抜かないと云う方法が考えられると思いますが、未だ其れは渡来した事は有りません。

森尾:其の可能性は無いんですか。

MHI 二村:余り、好ましくないかなとは思っていますけども、あの、やろうと思えば、やれる事はやれると思います。ただあの、天候とかですネ、寧ろ其方の外的要因の方が厳しいかも知れませんが。

池上委員長:それではどうも...ア、有りましたらどうぞ。ア、実際にいらしたんですヨネ。

井上:アア、イヤ、あのー、今回そう云う意味では、その、惑星間空間に初めて打ち出したと云う事で、その、第二宇宙速度を越える様なところ迄。此処までやったのは初めてになるんだろうと

³ 打上げ失敗をしてはならないと云う要求と、打上げの費用対効果を改善しろと云う要求は相矛盾するのだが、どうして此のようになったのだろうか。

⁴ 此の様に発言されると云う事は、JAXA はかなり厳しく要求されたと云う事なのだろうか。

思うんですけど、そう言う点では何も問題なく、まあ、結果として問題なかったんですが、其の辺は如何だったんでしょうか。

MHI 二村: そうですね、あの一、計画通り進められたと云う意味では、十分な成果が得られたと云う風に思ってます。

井上: それからもう一つあの一、これはあの一、2 段目の、或る種の試験もやられたと思うんですけど、其れも問題無く済んだと云う事で宜しいんでしょうか。

JAXA 坂爪: 私の方から簡単にお答えしますが、大体あの一、4%位の推力で、アイドル燃焼と云うのを計画して居りました。推力で 400 キロ位です。で、結果としては 390 キロと云う 4% 低い程の推力が達成できております。で、比推力、ま、効率ですけども、58.3 秒と云う数字に対して 53.6 秒と云う、此れも必要なのは 50 秒以上ですので、問題ありませんでした。で、此の儘の状態で使用出来ると判断して居ります。

青江: 此の儘の状態と言うのは、何も施さずに、此れ以上施さずに、行けそうだと。

JAXA 坂爪: そうですね、はい。行けそうだと云う事です。あと、もっとその一、認定試験を此れから計画してますので、此れ以上に良い条件が見付かれば、又違う事もトライする事もあり得ると云う事もありますけど。

池上委員長: 宜しいですか。じゃあ、どうも有難う御座いました。